



青山ゆたか
9月19日
決算特別委員会
総括質疑
要

雪対策費205万円

質問 雪対策は豪雪地帯の横手市にとって予算配分を含めて優先度の高い事業だ。一方で厳しい財政の中でムダなく、的確に執行することも求められている。市長は29年度の19億円という決算額について、どう受け止めているのか？また、施策の成果について伺う。

答弁 合併後最高の大雪に見舞われ、補正予算を議決いただきながら対応した。雪対策は市民が安全で安心な生活を送るために欠かすことのできないものだ。第二期総合雪対策基本計画の着実な遂行のもと、課題解決に向けて取り組みを進める。

質問 建設部を担当している藤本副市長にも伺う。普通会計の実質単年度収支は2年連続の赤字となった。その中の雪対策を財政のプロとしてどうみているのか。



答弁 他の市町村の方々からは横手の除雪は評価いただいているので、結果として予算措置している除雪費は機能していると考えている。ただ、毎年10数億という金額がかかっているのだから、きちんと成果の検証はしていかなければならないと思う。

質問 道路除雪の業者委託は雪対策にとって重要で欠かせない。現状と今後の方向性について伺う。

答弁 委託業者の方々には道路事情を知り尽くしており、地域除雪の大きな力になっている。今後も連携を図り、安定した除雪体制の構築に努めていく。

質問 十日町市は「除雪基本料の前払い制度」を行っている。これによって委託業者は雪が少ないシーズンもしっかりした準備ができるし、行政においても大雪時の予算負担を軽減できる。このように、雪の課題を抱

えている他自治体の事例を貪欲に研究することも大事なのではないかと。

答弁 豪雪地帯といっても、それぞれ地域特性がある。横手は横手なりに工夫をし、改善を重ねている。

質問 市長は全国青年市長会に入っている。そこには豪雪地帯の市長が参加している。その方々と雪対策を研究するグループをつくってみたらどうか。お互いのためになるはずだ。

答弁 積雪寒冷地に属している地域の団体があって、頻繁ではないが勉強はしている。国に対しても要望活動を行っている。

29年度決算審査
青山ゆたかの質疑

8月28日 決算特別委員会

- ☆インターシップ促進支援事業
 - ・目標値に届かなかったことに対する総括は？
 - ・市が様々な形で連携している大学への周知を図るべきだ。

- ☆雪対策費
 - ・市民の雪対策満足度における評価は？
 - ・雪対策基本計画の実行的ため

の具体的取り組みは？

☆公園費

- ・市民満足度の上昇と要望・苦情件数の増加をどう評価する？
- ・予算や人手不足の関係で維持管理が追い付いていないと思うが、今後の対応は？

☆財産経営推進計画実施事業

- ・外部から講師を招いた研修で「市民参画」の重要性を学んだはずだが、そのような考えで事業を行っていくのか？

9月10～11日 決算分科会(厚生)

- ☆病院事業会計
 - ・人間ドックのデータについて
- ☆証明書等コンビニ交付費
 - ・スタート時期としての実績評価は？
 - ・コンビニの対応についての把握は行っているのか？



- ☆墓園整備費
 - ・合葬墓の整備方針について
- ☆ごみ収集費
 - ・プラごみ分別の実態について